



スマイル! TOGO

自分らしく生きる力を身につけ、
なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより
令和5年12月18日 第24号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

最近の活動から ～学び、気づき、考え、深める。充実の2023年末です～

11/22(水) 5年生「和楽器体験」 箏で「さくら」を演奏しました



音楽で学ぶ「日本の音楽」を体験する機会として、今年も「和楽器体験教室」に参加しました。

指につける爪を選び、箏の前に座って2人一組で練習しました。最初は音を出すのに苦労していましたが、コツをつかむと次第に楽しくなり、最後には「さくら」1曲を演奏するまでになりました。しめくりとして箏と尺八の先生による演奏も鑑賞できて、日頃味わうことのできない、充実した時間となりました。



○和楽器体験で箏をしました。お話を聞いた後、さくらの曲をひきました。難しかったけど、箏の先生のサポートもありきれいな音で上手にひけました。初めての体験で楽しかったです。
(5-1 Sさん)

11/30(木) 5年生「木づかい塾」 建築士さんや大工さんをお招きしました

5年生が建築士さんや大工さんを招いて、木づかい塾(県の事業)に参加しました。

最初に木にまつわるお話や昔の木組み技術の説明を聞いた後、木材加工の体験をしました。大工さんによる実演では、まさかりや手おのを使って手作業できれいな柱になっていく様子を見て、その技術に驚いていました。後半は丸太切りやかんながけなどに挑戦しました。のこぎりやかんなを扱っての作業は悪戦苦闘でしたが、手伝ってもらいながら上手に作業を進めていました。体験をした体育館いっぱい、木のいい香りが立ちこめていました。今日の体験を通して、木のぬくもりのよさと同時に、福井県の木を守る人々の知恵と努力にも気づくことができました。



○木の年輪のことは知っていたけど、あんなに細かいのは初めて見ました。1年に1本、年輪が増えることにびっくりしました。木も競りせりをしているとは知りませんでした。のこぎりのこぎりで丸太を切ったり皮をはいたりという経験ができたし、プロの技がみられてよかったです。(5-2 Tさん)

1月以降の行事予定について ※延期等、変更となる場合があります。その際は速やかにご連絡します。

○避難訓練(休み時間) 1/24(水)10:15~

○卒業を祝う会 2/21(水)9:25~ 予備日2/28

○わくわく交流デー 2/6(火) 予備日2/13

(18号では2/22としていましたが、変更となります)

○なわとび大会 2/7(水)②5年③4年④6年

○卒業証書授与式 3月12日(火)9時より

2/8(木)②2年③1年④3年



11/30(木) 2年生が「おもちゃの国」開催、1年生を楽しませてくれました



そして、畑ボランティアさんに感謝の思いを伝えました



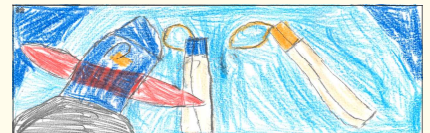
この日のために、前から準備を重ねてきた2年生。グループに分かれて様々なおもちゃコーナーを作り、1年生や畑ボランティアさんを楽しませようと精一杯がんばってきました。当日は、見事な進行のもと、2年生の力で大成功に導くことができました。何と言っても素晴らしかったのは、遊び方の説明をゆっくりと丁寧にしてくれたこと。そして、1年生やボランティアさんがうまくできたら「すごいね」「やったね」、うまくできなかったら「もう1回やってみよう」「大丈夫だよ」の掛けが、いろいろなところから聞こえていました。私も全てに参加しましたが、2年生の励ましに力をもらって、2倍楽しむことができました。畑ボランティアさんにはプレゼントをお渡しし、感謝の気持ちを伝えました。



2年生は、こんな時はどうしたらいいのだろうと「考える」

心、相手に「優しく」する心、そして自分たちが達成感を味わって「楽しむ」心、いろいろな心が育っています。そして、参加した1年生は2年生の姿から学び、次の自分たちのチャレンジに活かしていきます。

○1年生が「やりにくい」と言ったので交かんしてあげて、ちゃんとかめていたのでよかったです。ガシガシハンドを工夫して作ったから、校長先生に「すごい！」と言われてうれしかったです。1年生やボランティアさんによるこんでもらえてよかったです。(2-1 Iさん)



○がんばったことは、「がんばれ」「じょうず」といっぱいほめたことです。1年生も先生も、いっぱいいっぱいうれしそうにしていました。グループのなかまと「今だよ」「いいと思うよ」とたすけあったところもがんばりました。ヨットカーでくふうしたところは、羽をつけたり、タイヤの数をふやしたところです。(2-2 Oさん)

12/14(木) 4年生 福祉学習「人にやさしく町にやさしく」

総合的な学習で福祉学習に取り組んでいる4年生が、盲導犬と共に生活しておられる早苗征喜子さんをゲストティーチャーとしてお招きしました。玄関から校長室、そして会場のプレールームまで、盲導犬のピノ(女の子です)はスムーズに早苗さんを誘導していて、それだけで子どもたちは感心していました。



早苗さんは「ハーネスをつけているときは、ピノは仕事中。だから、私がしっかりと指示を出す必要があります。でも、ハーネスを外したら家族の一員として、たっぷりと愛情を注いでいますよ。盲導犬とともに暮らすようになってから、私は本当によくしゃべるようになりました。ピノのお陰ですね」と笑顔でお話をしてくださいました。4年生は盲導犬の役割についてもくわしくお聞きし、たくさんのお話を学びました。

